



結核しずおか

17号2005年9月21日

発行

財団法人 結核予防会静岡県支部

〒420-0915

静岡市葵区南瀬名町6-20

TEL 054-261-2512

FAX 054-261-9474

Eメール tb-shizu@topaz.ocn.ne.jp

発行責任者 山田勝平

印刷 三協印刷株式会社



巻頭言

結核予防事業の充実強化と予防会の更なるご支援を

結核の罹患の中心が高齢者であることや地域の実情に即する対応など効率的な結核対策に転換するとして結核予防法が50年ぶりに抜本的に改正された。特に結核検診については、一律的な定期検診からリスク評価を重視した検診へとなり、健康診断の対象者、方法の見直しが図られた。

我が市の結核事情は、結核登録患者が約100人と人口10万人対では国県に比べ低い状況にあるが、住民検診において約2万5千人から6千人が受診するなか毎年数名の患者を発見、しかも肺がん患者は過去5年間で46人発見するに至っている。また、年々減少していた新登録患者が平成14年26人から15年37人に増加する一方、検診受診者は5年で2千人程度減少、特に高齢化率の高い4地区で減少傾向が見られる等課題を抱えている状況にある。

また、去る8月下旬「富士市、療養型病院で結核集団感染発生」の新聞報道は、介護保険法施行以来増え続ける施設入所者は富士市でも例外ではなく結核予防に携わる市としても身の引き締まる思いをした。と同時に、国民の果たすべき役割が「結核に関する正しい知識をもち、その予防に必要な注意を払うこと」と詠われている中、市としては「年に一度は定期検診を受けましょう」「せきや痰などの症状が2週間以上続いたら医療機関で受診しましょう」と市民に喚起していかなければならないと改めて認識している。

そこで、厚生労働省が新たな指針で「日本を世界保健機関のいう中まん延国、結核改革足踏み国から脱したい」としているこの機を捉え、本市においても結核検診の追加検診の拡大や休日実施、また、富士市結核予防婦人会の構成団体に老人クラブの加入を要請するなど結核予防事業の充実強化を検討しているが、結核予防会静岡県支部の更なるご支援をお願いする次第です。

富士市福祉保健部保健福祉センター

所長 湯澤 まさみ

(結核予防会静岡県支部評議員)

全国・静岡県の結核の統計

平成16年度の本県の新登録患者数は、前年に比べて22人増加して874人となり2年連続して前年を上回る結果となっている。

また、年齢構成も前年に引き続き60歳以上が約73%と大きな比率を占めており、体力などが弱まる高齢者には定期健診や日ごろの健康チェックが特に大切である。

一方、住民検診受診率が、毎年低下していることが懸念される。

結核の統計

(静岡県健康福祉部疾病対策室資料より抜粋)

1 結核登録患者（登録患者数及び新登録患者数の推移 ※平成10年以降は新活動性分類による） (人)

区分	年末現在登録患者数				年内新登録患者数			
	全国		本県		全国		本県	
	患者数	10万人対	患者数	10万人対	患者数	10万人対	患者数	10万人対
昭和36年	1,615,099	1,717.1	38,692	1,391.1	419,424	445.9	12,235	439.9
50	726,862	649.6	16,695	504.6	108,088	96.6	2,751	83.1
平成14年	82,974	65.2	2,007	53.0	32,828	25.8	808	21.3
15	77,211	60.5	1,854	48.9	31,638	24.8	852	22.5
16			1,856	48.8			874	23.0

2 結核死亡者数（人口動態統計による）(人)

年次	全国	本県	死因順位・(全国)
昭36年	27,916	652	7位
40	22,366	560	7
60	4,692	126	16
平14年	2,317	70	25
15	2,336	61	25
16			

3 新登録患者年齢構成（静岡県） (%)

区分	年齢別構成						
	~19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳~
昭36年	20.0	15.9	18.3	13.2	13.4	12.6	6.6
60	2.9	5.8	6.4	10.3	17.4	22.3	34.9
平14年	0.9	6.8	6.4	5.3	10.5	15.8	54.2
15	0.7	6.7	6.9	4.3	8.6	13.9	58.9
16	1.4	7.3	6.9	3.7	8.0	13.3	59.4

4 住民検診受診状況（静岡県）

区分	平成12年	13年	14年	15年	16年
受診率 (%)	46.4	44.0	42.9	39.8	39.1



平成17年度静岡県結核予防婦人会理事会及び総会の開催報告



平成17年6月24日(金)に(社)静岡県看護協会研修室において臨時及び通常理事会、並びに総会が開催されました。臨時理事会では、市町村合併等による支部の移動や、現状に合った活動の見直し等から、会則の改正案について審議し、原案を一部修正して承認されました。通常理事会では、平成16年度事業報告及び収支決算案、平成17年度事業計画及び収支予算案、並びに役員を選任案について審議し、原案のとおり承認されました。

また総会では、平成16年度事業報告及び収支決算案、平成17年度事業計画及び収支予算案について審議し、原案のとおり承認されました。

総会終了後、下記事項について支部長・事務局担当職員合同会議を開催しました。

(1) 最近の結核の発生状況等について（静岡県疾病対策室）

(2) 第9回結核予防関係婦人団体中央講習会出席者による概要報告 など

結核予防週間によせて（提言）

今年も9月24日からの1週間は、結核予防週間として、全国各地で様々な催しが予定されています。これまで、当支部でも、毎年キャンペーン等々に取り組んでまいりましたが、さて、正直なところ、県民の皆様の意識の中に、結核に対する認識をどの程度浸透させることができたのでしょうか。

今、私達の周囲の友人、知人に尋ねても、結核は既に過去のもの、自分の生活には関係のないものという認識を多くの人達が持っていることに驚かされます。また、本年4月から改正結核予防法が施行され、検診のターゲットがハイリスク層に限定されることになったことにより、一層人々の意識が結核から離れていくことにならないか危惧されるところです。

今年の結核予防週間は『結核の予防・みんなの意識改革から！ ～本年4月より改正結核予防法が施行されました～』をテーマに展開されますが、これを機会に、結核対策に携わるすべての人が、もう1度結核予防の原点に立ち返り、「結核撲滅のために私のできることを模索する1週間にしてみたいかがでしょうか。みんなの意識改革に向けて、是非とも私達からスタートしたいと思います。

<結核予防週間キャンペーン実施のお知らせ>

結核予防について、県民の皆さんの意識に訴える、行動の日です。

当支部では、静岡県、静岡市、静岡県結核予防婦人会静岡市支部と協力して実施します。

日時：平成17年9月23日（金曜・秋分の日） 13時～15時

場所：JR静岡駅コンコース

内容：複十字シール運動・結核の正しい知識の普及啓発資料を配布し、結核予防を呼び掛ける

<静岡県結核予防大会開催のお知らせ>

静岡県結核予防婦人会との共催により、静岡県の後援並びに市町の協力を得て開催します。

日時：平成17年11月11日（金） 13時～

会場：静岡県総合社会福祉会館7階大ホール

内容：結核予防功労者表彰 講演等



（昨年のキャンペーン風景の写真）

第 56 回結核予防全国大会に参加して

結核予防大会は、平成 17 年 4 月 26 日及び 27 日の 2 日間、延 2,400 人が出席して千葉県幕張で開催されました。大会は、大改正された結核予防法の目的であります結核対策を、より効率的かつ重点的に推進するための定期健康診断や BCG の接種時期の見直し、DOTS (直接服薬確認治療法) の一層の理解促進を図ることを中心に進められました。

2 日間をとおして特に印象に残ったものとして、「結核患者からのメッセージ～結核患者の声」として千葉県柏健康福祉センター 山本裕香さんの発表でした。

結核患者の服薬状況や治療を阻害する問題点を把握するため、過去に結核治療をした患者にアンケートをし、その際、これから治療をはじめの方へのメッセージを募ったところ、多くの方からメッセージが寄せられたとのこと。ここではそのほんの一部を報告します。

(1) 不安及び要望

結核といわれるとすごくショック。
他人に移したらと心配で落ち込んだ。
結核のイメージを変える
広報活動を。

30 代女性

健康診断を 10 年以上していなかった。
今では検診はもちろん、ちょっと咳をしても
病院へ行きます。
結核と言われた時のショック、
家族に心配をかけたことを
忘れないように。

50 代女性

(2) 治療を開始する方・療養生活へのアドバイス

酒とたばこはやめること

30 代男性・40 代男性・70 代男性

痛くも痒くもないので安易に考えず
お体を大事に

70 代女性

結核は恐ろしい病気ですが、病気と自分
がはっきりと向き合って『絶対に結核を治
す』と思っていれば絶対に治ります。

10 代男性

薬をきちんと飲み、医師の指示に
従うこと。

多数

< 薬を飲み忘れないために工夫したこと >

- ◆ 薬箱は常に目につくところに
- ◆ 手帳やカレンダーに記録した
- ◆ 携帯用薬箱を用意
- ◆ 携帯電話のアラームの利用

Q:『胃の検査でバリウムを飲んだあと、下剤をもらったのですが、どれくらいで効いてきますか?』

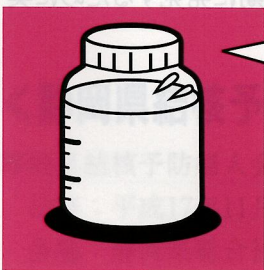
A:◀下剤を飲んだ後、効果が現れるまでの時間は個人差がありますが、一般に7~12時間とされています。人によって多少異なりますが、その夜か、次の日の朝には効果が現れることが多いようです。▶

Q:『胃のバリウム検査を受けたのですが、まだ便が出ません。どうすればよいのでしょうか?』

A:◀検査後に渡された下剤を飲んで、水分を多くとってください。夜までに、白い便が出ない時には、さらに下剤を1錠から2錠、寝る前に多めの水で飲んでください。(下剤は個人によって効き方が違いますので、十分注意して使用してください。) 当会では2錠お渡ししておりますが、普段から便秘傾向の方は、検査後にスタッフに申し出てください。その場合、下剤を多めにお渡ししながら丁寧に説明いたします。また、水分をいっぱい飲み、食物繊維をたくさん摂るなどの工夫をしましょう。▶

Q:『検査後は、どんな注意が必要ですか?』

A:◀バリウムを飲んだあとは、便秘になりやすいので、検診時に渡された下剤を指示どおりに服用し、水分を普段より多めにとるように心掛けてください。なお、できるだけ検診当日もしくは次の日までには、バリウムを出すようにしましょう。▶



バリウム
今はとっても飲みやすいヨ
(笑)
約 120 ~ 150ml



発泡剤
胃の中を膨らませる。これがけっこう大変かも? コーラやビールと一緒にいただけどネ(苦笑)

下剤

(検診課 診療放射線技師 瀬音善浩)

シールぼうやの秘密教えようかな

- 生年月日 平成 13 年 9 月 24 日 てんびん座
- 誕生理由 上野恩賜公園で複十字シール運動 50 年を記念して誕生した。
- ひたいの渦巻き 前髪がはみ出した巻き毛で金髪です。
- ぼうやの耳 特製の猫の耳で、結核菌のつぶやきを聞きもらさないためにある。
- 誰と同居 友達のインコです。
- 宝物 結核菌と闘う複十字の剣と複十字のマント
- 趣味 世界の複十字シール集めです。



乳がん検診スタート

最新式の乳がん検診車の導入

平成18年4月から最新のマンモグラフィ検診車を導入し住民や事業所を対象とした乳がん検診を開始します。

検診車は、効率よく検診を行うためにデジタル乳房X線装置を2台搭載して、受付や撮影にあたる放射線技師の計3人すべて女性スタッフが担当し、検診車の中ではプライバシーが守られるよう一人用脱衣室を設けるなどの工夫をし、安全・安心な検診をすすめてまいります。

今後、県下市町村や事業所への事業の説明を展開してまいります。皆さまからも関係者へ働きかけてください。



あなたの街にも
行きます

乳がん検診の必要性

乳がんの罹患率及び死亡率は年々増加しています。乳がんは早期に発見し治療を行えば予後は良好であり、乳房の温存による生活の質の維持・向上が期待される。乳がん検診は、乳房に発生するがんを早期に発見するために実施するものです。

(「国のがん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」より)

40～50歳代の女性が危険です

わが国では、2003年に約38000人が乳がんと診断されており、約1万人が亡くなるなど女性に最も多いがんの1つです。乳がんの特徴は40～50歳代の女性に特に多くみられることです。例えば、45～49歳の女性で、胃がんと診断されるのは1年間で3000人に1人なのに対して、乳がんは1000人に1人と約3倍のリスクがあります。

また、40～50歳の乳がん発生率は、この20年間で約2倍に増加していますし、この年代の女性ががんで亡くなる方のおよそ4人に1人が乳がんという現状です。ぜひ検診をお受けすることをおすすめします。

マンモグラフィとは・・・

乳房専用X線撮影装置で乳房を片方ずつはさんで、乳房を圧迫し平らにして撮影しますので、被ばく線量を少なくすることができます。圧迫の際には多少痛みを生じますが、痛みの感じ方は個人差があります。マンモグラフィは視触診ではわからない小さなしこりもわかります。さらに、しこりになる前の微小石灰像や病変を早期に発見できるなど、その有効性は高く評価されています。

担当者 事業課 原田・富田
TEL 054-261-2512
E-mail: tb-shizu@topz.ocn.ne.jp

複十字シール運動が始まりました

運動期間 8月1日～12月31日

世界の結核撲滅のための
複十字シール運動にご協力ください



結核をなくそう！2005-2006 日本 結核をなくそう！2005-2006 日本 結核をなくそう！2005-2006 日本

募金にご協力いただいた方にお配りしている複十字シールです。

新たな事業展開を

複十字シール運動の目的を広く県民の皆様に普及するために、9月7日(水)、(財)結核予防会と静岡県結核予防婦人会が、知事を表敬訪問し、運動を一層促進するためのご支援をお願いしてまいりました。

また、9月24～30日は、結核予防週間です。複十字シール運動のPR・大きく変わった結核予防法やBCG接種などについてわかりやすいパンフレットを用意して、普及啓発活動を行います。



静岡県は積極的

複十字シール運動は全国一斉に行っています。静岡県は、(財)結核予防会静岡県支部実施の郵送募金(※1)と静岡県結核予防婦人会(県内27支部)を中心とした組織募金によりご協力いただいております。特に静岡県結核予防婦人会の積極的な募金活動と、県民の皆様の温かい善意で、本県の募金成績は常に全国上位の位置を占めており、このことによって、積極的な結核予防対策も可能となっています。

今後もぜひ複十字シール運動にご理解ご協力をお願いします。

どなたでも募金運動に協力できます

複十字シール運動は、JR静岡駅コンコースや、地元市町で開催する健康まつりでなどで、シールぼうやも参加して行っています。特に、学校の保健委員会等の活動のなかで理解を深めるために啓発資材を提供したいと考えております。また保健室などに結核の基礎知識パンフレット等資料を置いていただけると幸いです。募金運動のご協力・資料請求をご希望される方は下記に連絡ください。

財団法人結核予防会静岡県支部

TEL: 054-261-2512(代)

FAX: 054-261-9474

E-mail tb-shizu@topaz.ocn.ne.jp URL://www.jatahq.org

※1 郵送募金とは、婦人会が活動していない地域等の家庭や事業所に、複十字シール・運動パンフレット・振込用紙等を郵送して運動にご協力いただく方法です。新たに郵送募金でのご協力をいただける方は右記まで連絡ください。



結核とたたかうシールぼうや



図書案内

新発売

専門家向けパンフレット

現場で役立つ直接 BCG 接種の手引き

平成 17 年 3 月発行 A5 判・24 頁・定価 315 円



接種前の予診・問診、指導、コッホ現象への対応、医療機関での検査など医学的な根拠と、保護者への対応を記した。

接種要注意者への問診とコッホ現象への対応は、わかりやすく図・写真を付けた。

コッホ現象とは

通常、BCG 接種後 10 日経つと針痕部位に発赤が現れ、接種後 1 カ月～2 カ月までに化膿巣が出来るが、BCG を既感染者に接種すると、接種後 10 以内に接種部位に発赤・腫脹や化膿等が起こり、通常 2 週間～1 カ月以内に治癒する。これをコッホ現象という。

平成 17 年 1 月改訂 定価 840 円

新しい医療基準に対応

オールカラーでマンガ中心

分かりやすい構成

結核の基礎知識を幅広く網羅

新刊

知って治そう
結核マンガ

注文先 財団法人結核予防会 静岡県支部 総務課
FAX による注文をお願いします。
FAX : 054-261-9474

結核の基礎知識パネルがリニューアルしているよ!!

☆☆ 健康まつり・イベント等で無料貸出し ☆☆☆

☆☆ 予約申し受けます。 ☆☆☆

返送料のみご負担ください☆☆☆



☆☆☆ 予約先 TEL 054-261-2512

編集後記

読売新聞に（8月10日）「エイズアジアの今（連載）～結核との二重感染深刻～の見出しの記事が掲載されました。

カンボジアの結核感染率は世界平均の約5倍に上る。薬の飲み忘れを防ぎ結核を確実に直すDOTS（直接服薬確認治療法）を含む総合的な対策の積極的な導入により、その治癒率は、国際目標の85%を達成した。ところが、結核による死亡者数は増えている。原因は結核とエイズの二重感染です。エイズウイルス感染者は結核を発病しやすい。

WHOはこうした二重感染は、21世紀の人類の脅威となることを強く警戒している。というのが要旨でした。こうした厳しい状況にある国に対して、今、私たちが出来ることは、予防と対策を進めるための支援です。8月から始まった、複十字シール運動をこれまでも、これからも役立ててまいります。是非、ご協力ください。（山田）

題字：田中隆（元支部職員） 表紙撮影：村木弘知（元県職員）